対象患者：胃癌

レジメン名：weekly nab-PTX+RAM

1コースの日数：28日

催吐性リスク：軽度

血管外漏出リスク

パクリタキセル アルブミン懸濁型：報告なし

ラムシルマブ：非壊死起因性抗がん薬

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day								
						1	~	8	~	15	~	22	~	28
1	グラニセトロン d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	3mg 5mg	点滴静注	メインルート	30分	○				○				
2	ラムシルマブ 生理食塩液	8mg/kg 250mL	点滴静注	メインルート	1時間(1回目) 30分(2回目以降)	○				○				
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	1時間(1,2コース目) 5分(3コース目以降)	○				○				
4	グラニセトロン	3mg	点滴静注	メインルート	30分			○						
5	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○		○		○				
6	パクリタキセル アルブミン懸濁型 生理食塩液	100mg/m ² (投与量÷5)mL	点滴静注	メインルート	30分	○		○		○				
7	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○		○		○				

点滴順序(day1,15)：Rp1→2→3→5→6→7

点滴順序(day8)：Rp4→5→6→7

投与時間(day1,15)：3時間(1回目)、2時間30分(2-4回目)、1時間30分(5回目以降)

投与時間(day8)：1時間

備考：

ラムシルマブ使用時は、フィルター付き専用ルートを使用する。

1,2コース目までは1時間の経過観察のため、生理食塩液でルートキープする。Infusion reactionの発現なければ3コース目以降は省略可とする。

パクリタキセル アルブミン懸濁型はフィルター付き専用ルートを使用禁止とする。

Rp3投与後、フィルター付き専用ルートは破棄する。Rp5以降、新規ルート(フィルターなし)を接続し、投与再開する。